

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

意見提出元	九州朝日放送株式会社
-------	------------

意見項目	意見内容
(1)ワイヤレスブロードバンドの今後の展望(2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージ等)	多種多様な端末及びコンテンツ・アプリケーションの普及により重要性は非常に高まり、生活にも深く根ざしたものとなってくる。当然、ラジオやテレビとの連携も重要な役割のひとつである。いつでもどこでも利用可能なシステム、特に地方の津々浦々でも同様な機能が享受できる環境を期待します。
(2)ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題(周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	周波数再編アクションプランの方針により速やかに検討をすすめ、電波利用サービスの高度化を図ることは重要である。 800MHz帯映像FPU(770~806MHz)は、UHF帯特有の電波伝搬特性から、特にマラソン・駅伝といった移動中継を軸とする番組や、非常災害時等の中継では不可欠なシステムである。HD伝送のための高規格方式を期待します。 また既に、特定ラジオマイク使用者と運用調整を行うことで帯域共用を実施しており、有効に利用している。
(3)関連する国内外の動向と課題	
(4)その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	